

第1回先物チャンピオンシップ入賞者特別インタビュー

孤高のトレーダー達

米国でプロトレーダーへの登竜門として数多くのトレーダーを輩出してきた「ワールドカップ」が、日本市場に上陸！2001年7月から6ヶ月間、全国から集った参加者が自らの腕を競い合った第1回ロビンズ-タイコム先物チャンピオンシップ。1098%という驚異のパフォーマンスを見せたフェアリー氏、最後までトップ争いを繰り広げた炭谷道孝氏、最後に一気に追い込んだアキラッチ氏。入賞者3名のトレード手法、考え方、リスク管理手法など一挙公開



インタビュー者ご紹介

菊川 弘之 氏 (ティー・ジーキャピタル株式会社 チーフアナリスト)

1988年、東京ゼネラル入社。その後、NY大学に留学し、'92年米国CTAの資格を取得。ラジオ短波「MIC朝イチ投資大学」でコメンテーターを務めるほか、ブルームバーグTVなどでも活躍。日本テクニカルアナリスト協会検定会員。ラジオたんぱ(第一)『MIC朝イチ投資大学』(放送は毎週月曜日午前7:35~7:50、毎週土曜日7:45~8:30)

企画：キャピタル・エフ株式会社
協力：タイコム証券
取材協力：菊川弘之氏(TGキャピタル株式会社)
取材日：2002年2月23日(土)

初めての投資経験

まず今までの投資経験ですね、初めての投資経験というか、相場に携わった一番最初の取引、そのことについてお聞かせください。

炭谷氏 私はね、相場の研究は16歳位から初めて、実際に始めたのは高校を卒業して東京に出てきて、あるところからお金を借りてやったんですよ。40-50万担保にして100万位借りたんですかね、そして相場をやったんですよ。で、その銘柄がアラビア石油だったんですけども、ところがその借りたところがトズラしてしまって、私が50万くらい出資してるんですよ、で、アラ石を自分で買ったと思ったんですが多分そこは呑んでたんでしょね、でその会社がなくなってしまって一生懸命貯めたお金がパーになってしまって、それが最初です・

いわゆるマーケット以外のリスクということですね。

炭谷氏 そうなんです。貧乏だったんですよ、18の頃は。

では、それが一番最初の取引ということで。

炭谷氏 そうです、最初に売買したのはそれで、マイナススタートです。それを取り戻すのが大変だったんですよ。それでしょうがないので、トヨタの自動車工場に行って流れ作業のアルバイト(季節工)をやって、半年で70-80万稼いだのかな、それでまた始めたんですよ。

フェアリーさんは?

フェアリー氏 4年前の9月ですかね、始めてから4年半位経っているかと思います。一番初めは商社系の会社で金をやりました。

その時は一番最初に「ラリーウィリアムズの相場で儲ける法」をよんで、これは面白そうだからやって見ようと思ひ、それで自分なりにシミュレーションしてやってみました。まあ予想通



り2ヶ月くらいで40万位無くしました(笑)。その後は大豆か何かをやって見たりしたのですが、結局次の1年くらい含めて140万位はマイナスですね。

やはり一番最初はマイナススタートということですね。

フェアリー氏 それで、そんなことばかりやっていても仕様が無いなど、いろいろ考えたりして、丁度その頃「魔術師リンダラリーの短期売買入門」の本が出版され、それでこういうやり方もあるんだなと思って、2年半前にパラジウムのチャートを見てこれなら使えるかなと思い、それを始めてから・・・



炭谷氏 リンダラリーの本のどの方法論を使ったのですか?

フェアリー氏 "80-20's"だとか、朝方仕掛けるやつですね、あとリスクの管理の仕方とかですね。それでその年の10月位からやり始めたと思うのですが、それで翌年1月にはパラジウムが暴騰したおかげで、それまでの損プラス利益を取ることが出来ました。

それでは、割合に短期売買中心に?

フェアリー氏 最後2月の中旬位までストップ張り付き状態で、あれで元金を稼いで・・・、(パラジウムが)売買停止になったじゃないですか、それで他に何か無いかと思ってガソリン・灯油を見つけて今に来ているところなんです。それで丁度今2年くらいですよ。

では、さほど投資歴としては長くないですね。アキラッチさんは?

アキラッチ氏 私は3年前に証券の口座を作って10万円だけお金をいれて(笑)。そこから低下株でスタートしたのですが、低位株動かないんですよ。それでチマチマとやって20数万になって、少し持つようになったらその保有しているうちの1社が潰れてやられたと(笑)。

まあ皆さん初めての取引は、さほど大きい成果は出なかったということですが、特に投資の世界では勝ったトレードより負けたトレードの方が学ぶところが多いとも言われます。

印象に残る負けトレード

では次に、今まで一番印象に残った負けのトレードについてお話をお伺いできればと思います。またそこから次にどういう風にトレードを変えていったかということも併せてお聞かせ下さい。

炭谷氏 私が一番負けたのはバブルの後で、ワラントをやっている、あれでほとんどお金が無くなってしまいました。あれが一番ひどいです(笑)

私は絶えず相場に対して研究しているのですが、若いときは一発当ててやろうという"やまし根性"があったので、やられてしまいました。でも今は年とともにその"やまし根性"がなくなりましたので、自分の研究の成果がそのまま発揮できコンスタントに儲けるようになりました。

"やまし根性"があると例えば100万の資金が300-400万になると、天狗になって更に今度は儲けてやろうと思ってきましたが、そういう性格が年とともにだんだんなくなってきましたので、だから最近はコンスタントに儲けられるようになったということでしょうね。

コンスタントに儲けられるようになったのは何歳くらいの頃ですか？

炭谷氏 今私は48歳ですけど、6-7年前ですね。その頃から株をやり、商品はインターネットで出来るようになり手数料が安くなってからですね。私個人は株が本業ですから、要するに業績で勝負をやっていたんです。

ファンダメンタルですね。

炭谷氏 そうそう。それで少しずつ資金を増やしてい

って丁度インターネットで売買できるようになったきたと。私は人を介して取引(注文)するのが嫌な人間なんです。あまり人間好きでないんですよ。あなたは好きですけどね(笑)。

ありがとうございます(笑)

これで機械でいいなと、それならやろうと、それでやっと実力が出来たということで、このまま儲けていこうと。あまり贅沢もしないでゆっくりとね。それは年がそうさせていると思います。若いときはもっと贅沢したいとか思いましたが、もうゆっくりでいいんですよ。

フェアリーさんの印象に残る「負けトレード」は？

フェアリー氏 前の年の11月始め頃ですかね、灯油の期近の方8枚位買っていてそのころ大分儲かっていたのですが、余裕をもってディズニーランドに遊びに来てたんですよ(笑)。それで帰ってみると暴落してたと(笑)。それで180万くらい吹っ飛ばした計算になります。

それでそれから"リスク管理"をきちりやらなければということになり、3ヶ月位かかって何とか取り戻せて、それ以来なるべく損はしないようにと年頭においてトレードするようになりました。

あと、見れないときは注文を出さないか、蓋(両建)をしておく、ということがありましたのでテロの時とか大きな損も無くこれました。順調に来ていても"過信"すると先程述べたことがような事になるので、大きく張らないとか注意しています。

ただ炭谷さんとちがって今たまたま儲かっていますが、来週も儲けられるという自信は全く無いです。これから利益をあげられるかどうかは全く自信がないので、いつもたまたま儲かったなという感じでやっています。また皆「余剰資金でやっている」とかいいますが、私は無くなったら困るお金という意識でやっているのだから減らしたくないという事を優先してやっています。それが結果的にいいものに繋がっているとは思っています。

やはり真剣の度合いが変わってくるということですね。

フェアリー氏 ええ。あとは、タイコム証券の場合は下ろせない(チャンピオンシップ中は出金不可)ということも逆にパフォーマンスをあげられたということもあると思います(笑)。普段は資金が増えたら1ヶ月毎に下ろしてしまうので。

なるほどですね。ではそれも上手く"リスク管理"になっていると。

フェアリー氏 その時の教訓で多く資金を積んで大玉張って残しておくとかやられるということを学びました。

では、アキラッチさんは?

アキラッチ氏 私はとりあえず今回の第2回大会でまた50万円入れてやっているのですが、第1回の感覚でそのままいったら、いきなりやられて半分くらいになってしまって(笑)。それでどうしようかなと、建てられるのがもう1,2枚しかできないので一生懸命やってやっともう直ぐ元のところまで来たんですけど。一回やってそれを取り戻してやろうという感覚でやるとやられるかな、と。

資金管理、ストップロス

まあ、下手な難平スカンピンという諺もありますけれど、皆様のご回答の中で「リスク管理」という言葉が共通して出てきましたけれど、ストップを常に用いるというような事もあるかと思えます。

例えばストップロスの基準ですね、重要な支持線を割ったら切るといったマーケットに対して基準をもつのが、それとも自分のアセット(資産)の何%をきったら切ってしまうなど様々な方法があると思いますが、具体的にどういった資金管理、またストップの用い方をされているのかお聞きかせ下さい。

炭谷氏 私の場合は両建てをするということです。それともう一つは他の会社ではコーンだとか他の銘柄をやっているんですが、コーンに関しては100%のリスクヘッジ、まず損をしないんです。「損をしない方法を教えてくれ」と言われるかもしれないですけども、それは教えられません(笑)。そういう一つの分散投資ということもありますが、タイコム証券のチャンピオンシップに関しては「一切のリスクヘッジはしていません」。

深みに嵌るな、損が大きくなるなと思ったら両建てをして一呼吸おくんです。一呼吸おけばその後何とかできるという自信があるから。自信がなくて両建てする人間は「両損」になると。私は失敗したなとおもって損切りしたらかえって損切りばかりになってしまって、儲からなくなってしまうんです。そういう事が解かっているから一応両建てして1時間でも30分でも少し冷静になって、それから対処すると。

それは自信があるからそうするので、では「その自信はどこから出てくるのか」といわれると、それは「長年の経験」としかいいようがない。それを実際どう対処するのかというと、大体一日に1~2回チャンスが来る、そこでどちらかを手仕舞います。負けているほうを手仕舞うか勝っているほうを手仕舞うかはその時次第、或いは一切解からなくなったら全部切ってしまう。それについては中々簡単には答えられませんが・・・。

私は自信がなかったら相場はしないですから。

私は相場が好きではないのです。あくまでも金儲けの手段でしかありません。私は自信があるからやっているの、自信が無かったらやりません。その自信はどこからくるのといったら、それは・・・私は幸せだと思います(笑)。「こんな自信がどこから出てきたのか」とよく言われるので。

その自信が人によって時には「過信」に変わる場合があるとおもいますが、その過信に変わらないというのは、先程おっしゃられたように年齢という事なのでしょうか?

炭谷氏 ただ毎日漫然と「今日上がって欲しいな」という様なそんな気持ちでは儲かりません。私は一つの信念というか自信を持っている部分がある、この方法論でやれば勝率は6割行くだとか自分に自信があります。その自信はシミュレートなど色々なところからくるものかもしれません。「万が一負けたらどうするんですか？」と聞かれますが、まあそれでも総資金の1/5位しか使っていないので大丈夫でしょうと。1億あれば2000万しかやっていないのだから後8000万残っているじゃないかと。

では自信が揺らくほど冒険は取らないということですね。

炭谷氏 ええ、それは取りません。

では大体資金の1/5程度だと。

炭谷氏 ええ、全資産の1/5ですね。

アキラッチさんはどうですか？

アキラッチ氏 私がタイコムのチャンピオンシップで行っていた日計りは、エントリーする時にはストップの値が決まっています、そこからエントリーしていたという形ですね。

では日計り中心ということで、オーバーナイトのポジションは・・・

アキラッチ氏 オーバーナイトは殆どしていませんね。

最後の追い込みで一気にかれましたけれども、これもでは日計りということですか？

アキラッチ氏 ええ、全部日計りで。

チャンピオンシップ以外でのトレードは？

私も皆さんの成績を最初見たとき丁度この時期というのは割合大きなトレンドが出ている銘柄もありましたので、トレンドフォローで大きい波をたまたま取ったのかなという印象だったのですが、皆さんのお話を聞くとかなり回数をこなしているということで、その点は非常に驚いたところです。通常の売買も同じような感じで割合短期的な売買をされているのですか？

炭谷氏 臨機応変ですけどね。

では売買の基準といったのはシステムをお作りになっているということをお聞きしましたが、自由裁量の分も大きいと。

炭谷氏 あのシステムでやるとフェアリーさんに勝てないんですよ（笑）。だから自由裁量でやるより他無いわけですね。せっかく参加料3万円払ったんだから取り返さなければと。

今回見事入賞されたということで、元は取れたんじゃないかなと（笑）。さてフェアリーさんはいかがでしょう？

フェアリー氏 タイコム証券を例にとると1日で総資金の1%とかの範囲以上になればその日はやめるとかですね。それで一日置いて次の日また仕掛けたほうが焦った気持ちにならなくていいんです。値段的には100円位におくことが多いのでそれを4~5回までとか。でも、どちらかといえば総資金の幾ら以上失いたくないというのがあるのでその範囲内でやるという事ですね。またその範囲になるようにオーバーナイトの玉も減らしてという事ですね。

逆行した場合には大丈夫なようにですね。売買の手法としては自由裁量という事でしょうか？

フェアリー氏 トレンドフォローかブレイクアウトを自由裁量でやるという感じですね。

ではトレンドが発生した場合はトコトンついていくという・・・

フェアリー氏 そうですね。

アキラッチさんはその辺りは？

アキラッチ氏 システムの方はトレンドフォローでやっています。ただ今回のチャンピオンシップに関しては完全に裁量だけですね。

そうですね、今回のロビンスカップは通常の投資とは異なり、順位・パーセントということで少しギャンブル的な側面も入れないと1000%を超えるような・・・

炭谷氏 そうですね、ならないですね。そういうことです。

ですから一般投資家の皆さんはいい面は学んで、必ずしも大きく狙うとリスクは当然大きくなるわけですからそこは注意されたほうがいいかなという気はします。

欲望と恐怖のコントロール

お話の中にも出てきましたが、マーケットというものは「欲」と逆行したときの「恐怖」というものは非常に強いと思うのですが、それをいかに抑えているかと。「自分の欲望と恐怖」ですね。ここでやはりパニックが起きてマーケットというものは大きく動くと思うのですが、その辺りの対処法をお聞かせください。

炭谷氏 それはね、少し宗教的・精神的な事になりますが、「儲けたい」「儲けて欲しいと祈る」のでは駄目なんです。私は「儲かるんだ」「儲かったんだ」と信じ込むわけですよ。それでやはり「儲かったんだ」と、それには当然裏付けるものがないとそうはなかなか思えないで

しょうけれども。ただそうすると楽ですよ。

まずはそういう精神的なものを持つということ、そうすると「今日負けてしまった、もうどうでもいいや」というような発想にならないですだからね。「儲かるんだろう？ 一体何やってるんだ」と自分に問い掛けるんです。「恥づかしくないのか」と。それで勿論一生懸命やるわけです。そうすればちゃんと積み重なってお金が入ってきます。

これはおかしなことかもしれませんが、そうなんです。ありたいと思ったとしてもそう簡単に世の中成功しません。自分に根本的に自信を持つということ。それは単なる願いじゃ駄目です。強く念じないと。ちょっと宗教的になってしまってますみません(笑)。ちなみに私は無宗教ですからね。(一同笑)

やはり意志あるところに道は開くというようにですね、漠然と考えていてもいけないのではないかと。皆様やはりかなりマーケットに対しては真剣に行われているということを感じますが、フェアリーさん、同じく「欲と恐怖」についてはいかがでしょう？

フェアリー氏 どちらかという損切りを早めにご含み損はなるべく我慢しないですぐ切る、と。それで含み損になっていけば次の日までは持ち越さないで、今すぐ切ってしまうという事が多いですね。一晩寝れば損したことも忘れますので(笑)。

ではあと利を伸ばすといったのも、大半の投資家は少し利が乗るとすぐ利食ってしまう傾向というものがあると思うのですが。

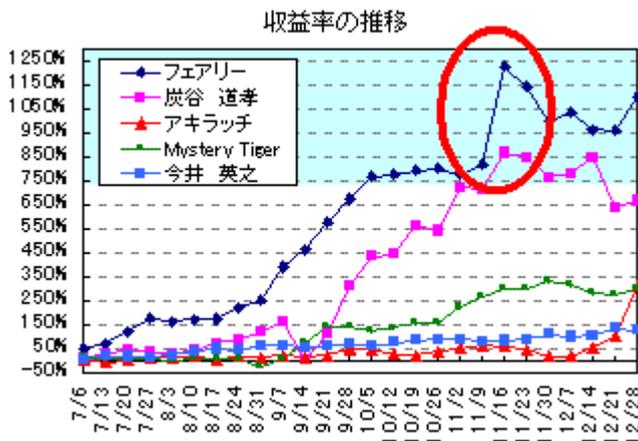
炭谷氏 そうですね。それが一番ですね。儲からない人はそこです。

本日のセミナーの中でもマーケットの魔術師といった本が話の中で出てきましたけれども、「アマチュアは大きな損失で破産する、プロというのは小さな利益で破産する」といった言葉がありますが、やはりその利を伸ばすということも自分との戦いであると思うのですが、そ

れもじっくりと我慢するということでしょうか？

フェアリー氏 そうですね。去年参加しているとき、確か12月の始め頃だったと思うんですけども、その時点で3日位で確か200万位利が乗った事がありました。途中で利食ってしまいたいという気持ちになるんですが、それを抑えて反転するまで待つというのが・・・

この辺りですね（下図参照）



この反転の材料といったものは、テクニカル的なものですか？

フェアリー氏 そうですね。まあ後は投げが促進したかなとか取組などでもある程度はわかります。あとは出来高。

では割合、チャートプラス内部要因的なものも注目されていると。

フェアリー氏 そうですね。

アキラッチさんは日計りということで、余り内部要因などは考慮されないということでしょうか？

アキラッチ氏 そうですね、基本的に動いている時に少しでも取ってほしいと。

では割合ブレイクアウト型というか、日計りの中のブレイクアウト型？

アキラッチ氏 いえ、日計りは全部逆張りです。

なるほど。ではトレンドが発生した場合は損切るといふこと。

アキラッチ氏 逆に張って下にいったらすぐ損切つて・・・

そこからひっくり返すということとは？

アキラッチ氏 ひっくり返すこともありますし、その時のフィーリングと言ったところでは。

驚異のパフォーマンス

ではこのロビンスカップについてお聞きしたいのですが、皆さん50万円と200万円からスタートということと最終的に幾らになったかというのを、皆さんパーセントはご存知だと思っんですけども「額」で知るとまたちがったイメージを受けるのではないかと。

アキラッチさんは50万円が・・・

アキラッチ氏 二百何万ですね。

炭谷さんは？200万円が、

炭谷氏 値洗いで見ると1200万円ちょっと儲けたんではないですかね。1300万位かな。

フェアリーさんは最終的には、50万円を？

フェアリー氏 550万といったところです。

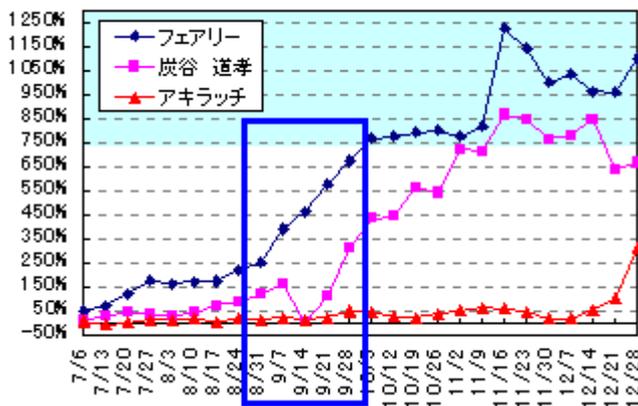
NYテロ事件

そんなに増えると皆さん羨ましいと思うと思うのですが(笑) ちょうどこの期間といえば9月のテロといった大きな事件がありましたけれども、その時のポジションはどうなっていましたか?

炭谷氏 満玉に近いとは言いませんが、確か資金の半分くらい売っていたと思います。それでプラスだったのがマイナスになったと記憶しています。

150%前後から、そうですねマイナスになっていますね(左図参照)。ではそこでは両建てなども・・

収益率の推移



炭谷氏 両建ては一切しません。

では、そのままポジションを持たれたままで?

炭谷氏 そう、私は下がると思っていました、以前の湾岸戦争の時と同様に。だからそこから(パフォーマンスが)ぐっと伸びたでしょう。

そうですね、リバウンドも早い形でそこからまた綺麗な上昇トレンドに。

炭谷氏 私はここで売りませしたんです。自信がありましたので。幸運だったんですけれどもね(笑)

フェアリーさんの場合はこの時は?

フェアリー氏 その時は確かガソリンの先を買って灯油を売ってただけなので、だまってみている状態です。臨増(臨時増証拠金)がかかるとまずいなと思っていたくらいですね。臨増がかかるとお金を追加しなくてはならないので、お金を追加すると収益率が落ちますよね。そういう心配はしてましたけど。沢山儲けている人が他にいるんだろうなと思って見ていました。

それまで綺麗にガソリンも灯油も綺麗にダウントレンドが続いていましたから、多分逆張りやっていた方は持っていかれでそろそろ耐え切れなかなという水準にはあったと思います。

丁度この頃日計りはストップ張り付き状態だったと思いますが、アキラッチさんは?

アキラッチ氏 何をやってたかは覚えていないですが、とりあえずやっていたとしてもどこかで買って、どこかで売っている状態でしたでしょうから、別に何の影響もありませんでした。

トレード銘柄と手法

まあ皆さん基本的にはガソリン・灯油がメインのロビンスカップだったということでしょうか?

炭谷氏 いや98%灯油です。ガソリンを見ながら灯油をやっていました。一方があつてそしてもう一つを見る、灯油ばかりみないで比較してトレードすることが私は安心します。灯油は上がるか下がるか解からないので、先行指標としてそういう風にやっていたんですが・・最近はそのも儲からなくなってしまったので、もうその手法も止めようと思ってこれから切り替えるんですよ。

その比べるというのは、各限月毎様々な形で比べるということですか?

炭谷氏 先程も申し上げたように、まずガソリンの先限の値動きを見て、それに対する灯油の先限の反応を見て、昔は期近に行くほど反応は鈍かったんですね、タイムラグがありますからね。ですからそこをチャンピオンシップの場合は注文が早かったんですよ(タイコム証券)ですからそれで最初は儲けられました。灯油の先が上がったな、そうしたら中限を同じ値段で指して、それで入れば儲けもの、やがて上がりますから。30円か50円か解かりませんが、そういうことをやっていました。

同じようなサヤ取りをフェアリーさんもやって利を伸ばされたということですか。

フェアリー氏 ええ。

では余り片(片建て)の取引は無かったということでしょうか?

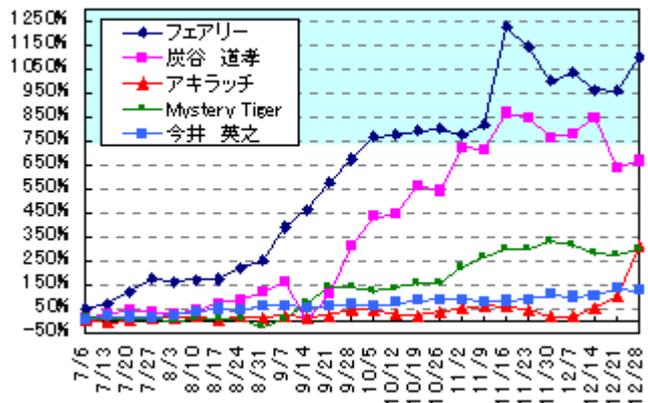
フェアリー氏 そうですね、片建てしたのは収益の大きく上がったとき(11月)ですね。最初の日には仕掛けてストップ張り付きで2日ほどストップでそのまま持っていたので。基本的にストップ張り付きの時は片張りについていきます。それ以外の時は、この間のテロの事もありましたので(片張りを)しなくなりましたね。ただ最初の1ヶ月位は資金を増やすのに片張りで・・・

増やしてロットが調ったところでスプレッドを入れたいという・・・

フェアリー氏 ただ・・・丁度お盆の頃のんびりしていたらその時の2位以下が接近してきたのでちょっと慌てて(笑)

そうですね、この辺が(7月辺り)が丁度乖離し始めたところですね(右上図参照) テロ辺りからかなり格差がついてきましたね。スプレッドの場合、銘柄違いと限月違いで組まれていると言われていましたが、利が大きく乗るのはやはり期近のポジションの方が大きく乗ると・・・

収益率の推移



フェアリー氏 いえ、そうとは限らないですね。丁度この8月から10月辺りは灯油とガソリンのサヤ(乖離率)が大きくなっていましたので、灯油買い・ガソリン売りで仕掛けてそれが丁度テロをきっかけに逆になってきてそれに上手く乗れたと。まあ取組みだけではなく、やはり現物が背景にあるのでいずれ元に戻るというのあった・・・

納会値には割合収斂する傾向があるという・・・

フェアリー氏 ですから逆のポジションの人が諦めて損切りした頃を狙って逆を仕掛けるということが出来ました。

将来の目標

マーケットにおける将来の目標をお聞かせください

炭谷氏 実績を積み上げていけばやがて自然に何か変わってくるものが出てくるだろうと。自分からこうしたい、ああしたいこうしたいと言わないでも、結果が出れば自ずと人に呼ばれるかも知れませんね。それは自然の成り行きですね。

当社(TGキャピタル)は商品ファンドを運用している投資顧問なのですが、例えば個人の運用ではなくて、そういったファンドの運用といったようなものは興味がありますか?

炭谷氏 全くありません(笑)自分が幸せになりたい人間なので、人まで儲けさせようという気持ちは無いです。

例えばそれで成功フィーを多くもらおうといった形は?

炭谷氏 だからそれが私はおかしいなと思います。自分でやったほうがもっと儲かります。

フェアリー氏 私の場合は全く自信を持ってやっていないので、去年・一昨年あたりは順調だったので、このまま何年か続けていけたらいいなと。そして余裕が出てきたらその資金で違うことでもやれたらと思っています。増やすといってもある程度以上はマーケットの大きさもあるので難しいかなと。

そうですね、特にコモディティーの場合ある程度限度もありますので

炭谷氏 私はもったいないと思いますよね。1000%なら1000万やれば億でしょ。自信が無いんですか?

フェアリー氏 いや、そういう訳ではないですが、自信は無いです(笑)。また東工取のマーケットでそれだけ出来るかどうか。また例えば1億お金を動かしたときにあげれる利益を出すパターンとは違うのではないかとと思うところがあります。

そうですね。それはある面事実だと思いますね。

フェアリー氏 後半、20枚単位で仕掛けたんですけども、それ位でも期近だと値が動く時もありましたので。

炭谷氏 期近なら20枚は駄目ですよ。

フェアリー氏 それで先だとサヤの動きが無いと。寄り付きの時に結構ばらつきがあるので、それを上手くつかめれば昼までに元に戻ったりするので。

ファンドの世界でもそうなのですが、売買対象が国内商品のみの場合、アセットの小さいファンドの方がサヤを上手く利用しているものがあるのかなと。だからもしかすると乗せないほうがいいかもしれません。

フェアリー氏 トレンドフォロの仕掛け方をもう少し研究して取れるようになったほうが楽かなと思っています。

アキラッチさんは?

アキラッチー氏 将来は・・・金持ちになりたい、それだけです(一同笑)。

それでは第2回の大会も是非いい成績で収められるように・・・

炭谷氏 でも、もし同じ顔ぶれだったら、インタビューも困るんじゃないですか(笑)。

いや、例えば今回は半年でしたよね。半年とか1年成績のいい人というのはプロでも結構いるんですよ。重要なのは、これが継続していい成績を収められるかと言うことなんです。

ですから今回は半年皆さん素晴らしい成績でしたけれども、これが評価されるのは1年、2年、3年と続くと、仮にタイコムさんがロビンズカップを続けられた場合、その評価の度合いは非常に変わってくると思います。

大きい相場を一発あてれば割合成績自体は表面上いい形に成りますけれども、それが2年、3年、4年と続けられるかどうか問題なのです。やはりマーケットから脱落していく人間が多い中でですね皆さんにはそういった生き残る形で、頑張ってもらいたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。